

こんぺいとう通信



教室のみなさん、こんにちは (ノ^ノ)

開幕が危ぶまれたオリンピックも開幕まで2週間と迫ってきました。その一方で東京都には緊急事態宣言が発出され、神奈川県でもまん延防止等重点措置の適用期間が延長されました。これから夏に向けて開放的な気分になるはずなのに、なかなかスッキリしませんね。そんな日々の中、皆さんはどのようにして気分転換していますか？

私は最近、以前に比べて本を読む時間が増えました。テレビは面白くないし、教養不足を補うのに読書は私にぴったりです。最近読んだおススメはといえば「鬼滅の刃」に「進撃の巨人」…って、漫画ばかりじゃないかーい (^^)

本と言っても、最近では紙の本はほとんど買わなくなりました。その代わりに購入しているのは電子書籍です。私の身近の方で電子書籍を楽しんでいる方はほとんど見かけないので、電子書籍がどのようなものか馴染みのない方も多いと思います。また、我が家の大学生の娘に聞くと「本は紙じゃないと読みにくい」と言いますし、電子書籍が完全に紙の本に取って代わるのはまだまだ先のようです。長い歴史のある紙の書物と比べると、スマホやタブレットの画面を通して読むというのは違和感を感じるのも無理はありません。それでも私が電子書籍を優先的に購入するのにはそれなりの理由があります。今回はそれをご紹介します。

電子書籍とは、様々な書籍の内容を電子データ化し、それをスマホやタブレットなどの電子機器で読めるようにしたものです。電子書籍を読むための専用端末もありますが、皆さんがすでにご利用になっているスマホやパソコンで読むこともできます。

肝心の書籍ですが、これはアマゾンに代表されるインターネット上のお店で購入し、スマホなどにダウ

ンロード（インターネット上からコピーすること）して利用します。

先に電子書籍のデメリットを述べてしましましょう。何より紙の本と違うのは、読みたいところをパラパラめくることができない点です。「あれ、さっきなんて書いてあったっけ？」などというとき、紙の本なら片手でめくって戻すこともできますが、電子書籍ではなかなか思うようにいきません。手で感じる紙の厚みというものが無いので、その辺も違和感を感じる元になっているように思います。

その欠点を補って余りあると思うのは、特に以下の2点です。

- ①いつでもどこでも本が読める
 - ②数百冊の本を購入しても全く場所を取らない
- ①「あの本、読みたいなあ」って思ったとき、それが手元にあることは稀だと思います。けれども電子書籍なら手元のスマホからすぐに読むことができます。これは私にとって、かなりシアワセなことです。
- ②読みたくて購入した本も、数が増えるにつれ置き場所に困るようになります。ついには二束三文で手放すことも。でも電子書籍ならいくら数が増えても全く困ることはありません。旅行に出かけるときも数十冊を持ったところで重さは1グラムも増えません。また私の場合、借りるのではなく購入するのは、かなり思い入れを感じる本だったりします。それを手放すのは忍びないことです。その点でも、電子書籍は一度手に入れば半永久的に所持し続けることができるというのは素晴らしいと思います。
- とは言え、紙の本の手触りが捨てがたいというのも、また事実です。紙と電子本、それぞれに長所がありますので、どちらか一方が優れているというのではなく、場面に応じて使い分けていけたらいいですね。